

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月10日(金)

東証1部 4539

目次

スライド番号

- | | | |
|------------------------|-----|----|
| 1. 2018年3月期第2四半期 決算の概要 | ... | 3 |
| 2. 2018年3月期 通期業績予想 | ... | 11 |
| 3. 当社経営戦略について | ... | 15 |

2018年3月期第2四半期 決算の概要

連結損益の概況

(百万円)

	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期				2018年3月期 第2四半期 業績予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	前年同期比	金額	(達成率)
売上高	17,515	100.0%	17,512	100.0%	△ 3	△ 0.0%	18,700	93.6%
医薬品事業	17,022	97.2%	17,097	97.6%	+74	+0.4%		
その他事業	493	2.8%	415	2.4%	△ 77	△ 15.8%		
売上原価	9,586	54.7%	9,562	54.6%	△ 24	△ 0.3%		
[原価率増減P]				[△0.1p]				
販売管理費	6,606	37.7%	6,970	39.8%	+364	+5.5%		
[販管费率増減P]				[+2.1p]				
営業利益	1,323	7.6%	979	5.6%	△ 343	△ 26.0%	1,300	75.4%
経常利益	1,147	6.6%	983	5.6%	△ 163	△ 14.3%	1,250	78.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	822	4.7%	730	4.2%	△ 92	△ 11.2%	800	91.3%

医療用医薬品の状況(連結/荷離)

(百万円)

	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
医療用医薬品荷離(①+②)	15,437	100.0%	15,667	100.0%	+1.5%
①ジェネリック医薬品荷離	14,255	92.3%	14,623	93.3%	+2.6%
うち自社販売	13,740		14,149		+3.0%
うち導出・輸出	515		474		△ 8.0%
アムロジピン	1,429		1,437		+0.5%
ランソプラゾール	1,158		1,093		△ 5.6%
ドネペジル	840		785		△ 6.6%
ラベプラゾール	796		783		△ 1.7%
リマプロストアルファデクス	756		727		△ 3.8%
プラバスタチン	594		572		△ 3.7%
ボグリボース	493		450		△ 8.7%
その他	8,184		8,772		+7.2%
②主力品	1,181	7.7%	1,043	6.7%	△ 11.7%
ウラリット	734		638		△ 13.1%
ソレトン	343		293		△ 14.4%
カルバン	104		111		+7.1%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	14,922	—	15,163	—	+1.6%
③ジェネリック医薬品受託	667	—	539	—	△ 19.2%

業態別ジェネリック医薬品売上状況(個別/荷離)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期	
	売上構成比	売上構成比	売上前年同期比	売上構成比	売上前年同期比
病 院(100床以上)	14	14	+5.2%	15	+2.5%
診 療 所(100床未満)	12	11	△ 4.7%	11	△ 2.3%
保険薬局	74	75	+2.5%	74	△ 0.4%
合 計	100	100	+2.0%	100	+0.0%

【保険薬局市場におけるカバー率(個別)】

約58,000軒中 **70%**(ジェネリック医薬品のみの値)

うちDPC病院	—	—	+7.0%	—	+2.8%
---------	---	---	-------	---	-------

【DPC病院におけるカバー率(個別)】

約1,700軒中 **80%**(ジェネリック医薬品のみの値)

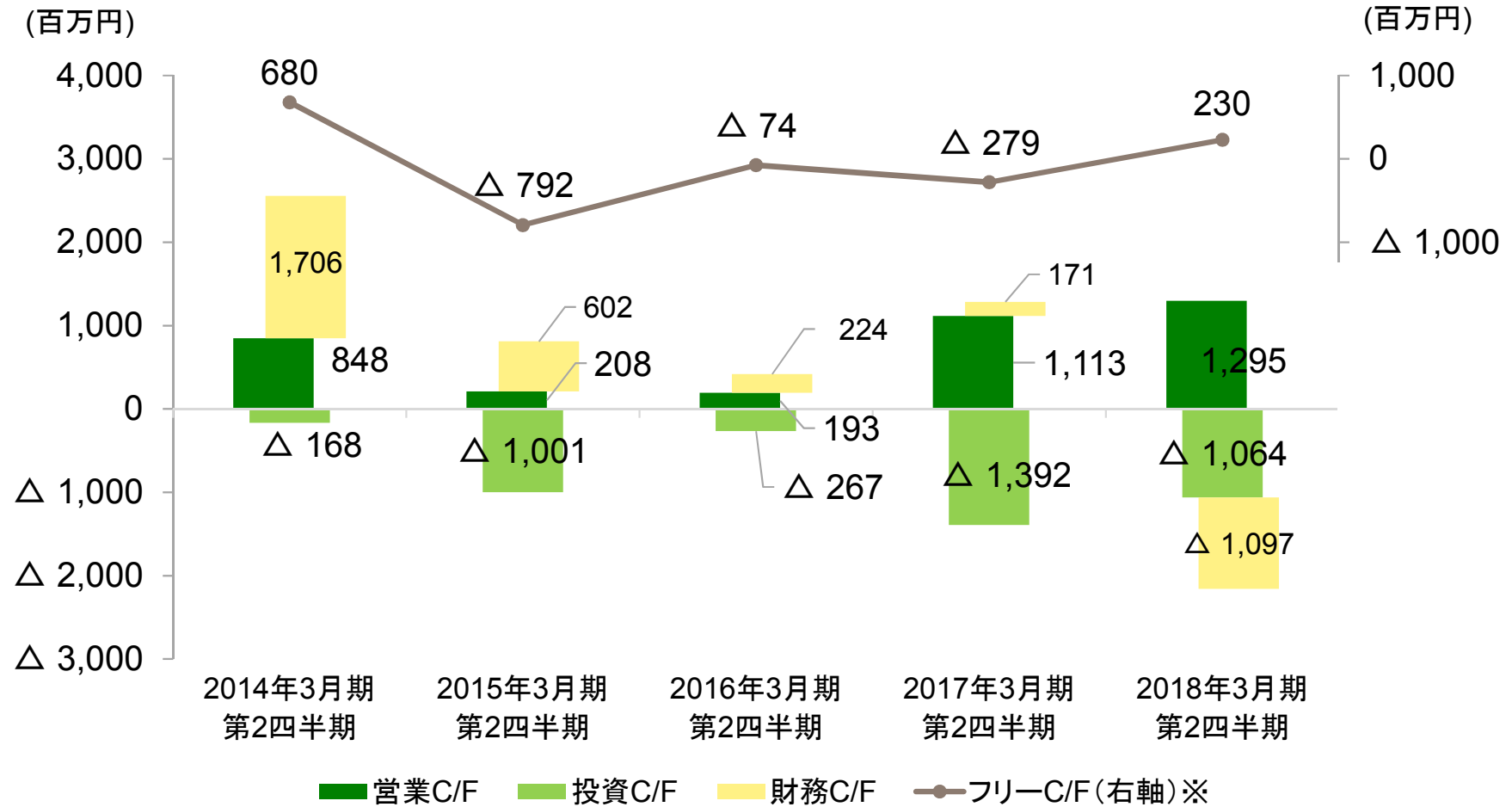
貸借対照表(連結)

(百万円)

項目	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減額	主な増減項目	
流動資産	29,009	27,602	△ 1,406	現金及び預金	△ 853
				売掛債権	△ 236
				棚卸資産	△ 131
固定資産	17,991	18,556	+565	建物及び構築物	+1,344
				機械装置、工具器具など	+184
				土地	△ 384
				建設仮勘定	△ 1,048
				投資有価証券	+426
資産合計	47,002	46,160	△ 841		
負債合計	29,646	29,192	△ 453	仕入債務	△ 804
				借入金	+337
				未払金	△ 502
				未払費用	+269
				未払消費税等	+145
純資産合計	17,355	16,968	△ 387	利益剰余金	+464
(自己資本比率)	(36.9%)	(36.7%)	(△ 0.2P)	その他有価証券評価差額金	+291
				自己株式	△ 1,000
負債純資産合計	47,002	46,160	△ 841		

キャッシュ・フロー推移

※フリーC/F...営業C/F+投資C/F

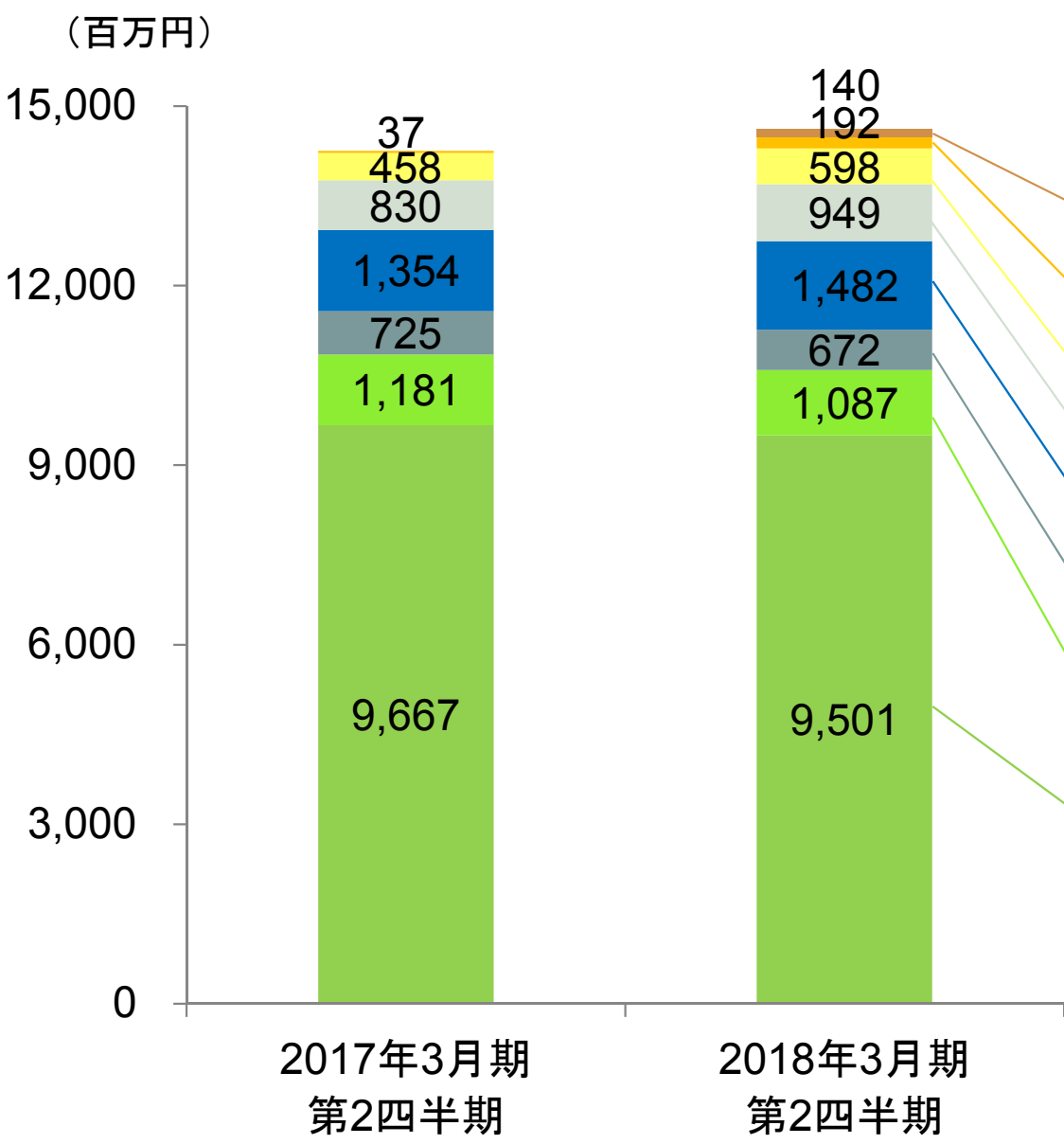


【参考】フリーC/F 通期実績推移

(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	参考: 2018年3月期 第2四半期
フリーC/F	△606	365	2,299	232	230

【参考】ジェネリック医薬品発売年度別売上（連結/荷離）

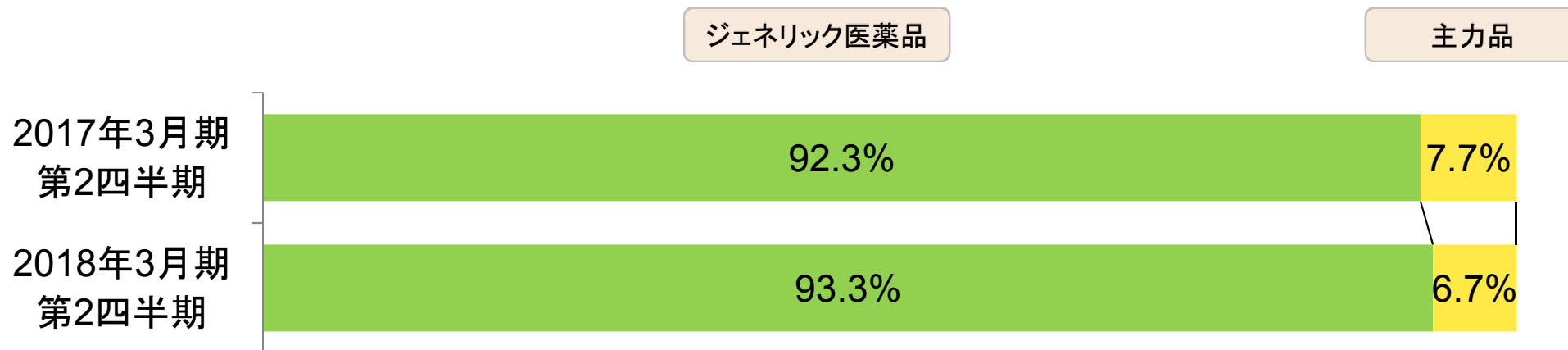


発売年度別前年同期比増減率

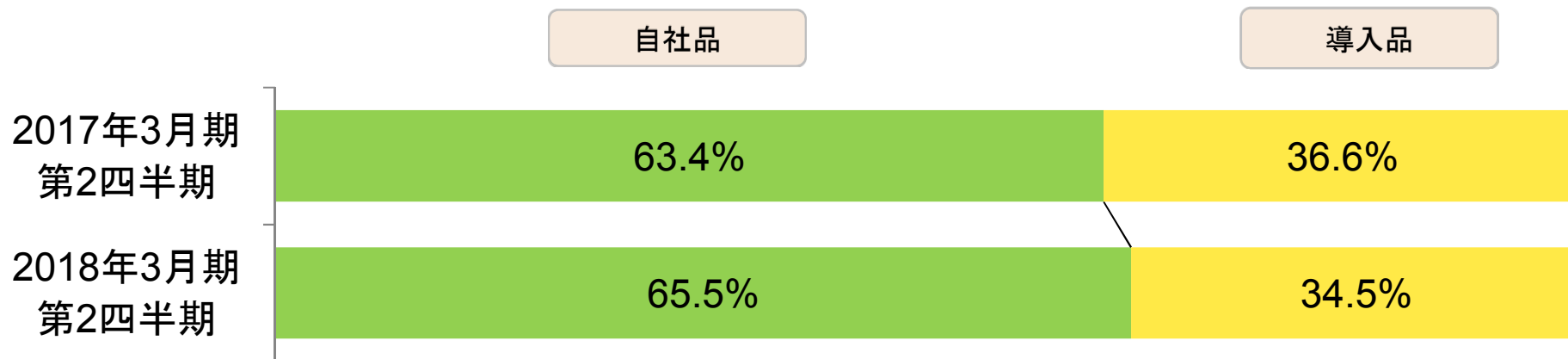
発売年度	連結荷離	うち自社販売
2018年3月期	今期発売	
2017年3月期	5倍	4倍
2016年3月期	+30.5%	+21.9%
2015年3月期	+14.4%	+11.4%
2014年3月期	+9.4%	+6.3%
2013年3月期	△ 7.3%	+0.3%
2012年3月期	△ 7.9%	+0.2%
2011年3月期以前	△ 1.7%	△ 1.2%

【参考】ジェネリック医薬品売上構成比（連結/荷離）

医療用医薬品売上に占めるジェネリック医薬品の構成比



ジェネリック医薬品売上に占める自社品と導入品の構成比



2018年3月 通期業績予想

当期業績予想の見直しについて

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	通期実績	第2四半期実績	当初通期予想 (5/11開示)	見直し後通期予想 (10/31開示)	進捗率
売上高	35,689	17,512	38,000	35,500	49.3%
うち 医療用医薬品 荷離	31,513	15,667	34,700	32,000	49.0%
(ジェネリック医薬品)	29,204	14,623	32,600	30,000	48.7%
(主力品)	1,395	1,043	2,100	2,000	52.2%
営業利益	2,836	979	2,500	1,800	54.4%
経常利益	2,849	983	2,400	1,700	57.9%
親会社株主に帰属する (四半期)純利益	2,054	730	1,550	1,150	63.5%

今期新発売品目

2018年3月期：5成分16品目を発売予定

◆2017年12月 新発売予定品目

発売月	製品名	品目数	品目数
12月	イルベサルタン錠「ケミファ」	3	3成分 11品目
	オルメサルタン錠「ケミファ」	4	
	ロスバスタチン錠「ケミファ」	2	
	ロスバスタチンOD錠「ケミファ」	2	

(参考)2017年6月 新発売品目

発売月	製品名	品目数	品目数
6月	テルミサルタン錠「ケミファ」	3	2成分 5品目
	モンテルカスト細粒「ケミファ」	1	
	モンテルカストチュアブル錠「ケミファ」	1	

【参考】

医療用医薬品売上計画 (連結/荷離)

(百万円)

	2018年3月期		
	第2四半期実績	見直し後通期予想 (10/31開示)	進捗率
医療用医薬品荷離(①+②)	15,667	32,000	49.0%
①ジェネリック医薬品荷離	14,623	30,000	48.7%
うち 自社販売	14,149	29,100	48.6%
うち 導出・輸出	474	900	52.7%
アムロジピン	1,437	2,900	49.6%
ランソプラゾール	1,093	2,100	52.1%
ドネペジル	785	1,600	49.1%
ラベプラゾール	783	1,600	49.0%
リマプロストアルファデクス	727	1,400	52.0%
プラバスタチン	572	1,100	52.1%
ボグリボース	450	900	50.0%
その他	8,772	18,400	47.7%
②主力品	1,043	2,000	52.2%
ウラリット	638	1,200	53.2%
ソレトン	293	600	48.9%
カルバン	111	200	55.9%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	15,163	31,400	48.3%
③ジェネリック医薬品受託	539	1,400	38.5%

当社経営戦略について

3つのMission Plus 1

基本戦略

■3つのMissionによる経営戦略

- ✓ 3つのMissionを実現することで独自のビジネスモデルを確立する。
- ✓ Missionの成果を海外へ展開し、更なる将来成長を確保する。



Mission1 ジェネリック医薬品

情報提供力や製品工夫による差別化を図るとともに、コスト競争力を高め、“質”を追求した特色あるジェネリック医薬品事業を展開する。

Mission2 高尿酸血症(尿アルカリ化薬)

高尿酸血症領域など、尿アルカリ化療法に関する臨床研究の成果を最大限に活用する。
新規尿酸降下薬の開発を進め早期に導出を実現する。

Mission3 新薬開発

疼痛分野などの得意分野に特化した探索型新薬開発を推進し、オリジナル新薬を世界に展開する。

Plus1

3つのミッションの成果をアジアを中心とした海外市場へ展開する。

経営戦略①

ジェネリック医薬品のサプライチェーン強化

開発

- 原薬コスト・仕入れ価格低減の取り組み

製造

- ベトナム工場商業生産開始(2018年下期)
- つくば工場の設備増強

販売

- 効率の良い営業活動による生産性拡大
- 日本薬品工業(NPI)による新規取引ルートの開拓

物流

- 西日本物流センター開設

20億錠
生産体制へ

販売チャネル
の多様化

経営戦略②

高尿酸血症（尿アルカリ化薬）への多面的アプローチ

2016年8月NPIがウラリットの後発品である、沢井製薬ウリンメットを承継

- グループでクエン酸塩製剤市場をほぼ掌握

東北大学における臨床研究の進展

- クエン酸塩製剤市場拡大の可能性

新薬開発（NC-2500 およびNC-2700）

- 異なる作用機序の新薬開発

経営戦略②

主力品リバイバルへの挑戦

Uralyt®

ウラリット

- ・ 東北大学における臨床研究への協力

Soleton®

ソレトン

- ・ 日本医師会治験促進センター支援による
医師主導型の臨床治験開始

Calvan®

カルバン

- ・ SOM(スペイン)によるオーファン適応に
向けたフェーズⅡ試験の展開

経営戦略③

新薬開発

パイプライン(2017年10月末時点)

開発番号	作用機序 (ターゲット)	前臨床	P I	P II	備考
NC-2400	PPAR- δ 作動薬 (脂質代謝改善)			Phase1終了 導出済	・セレニス社(仏)へ導出済。
NC-2500	XOR阻害薬 (高尿酸血症)			Phase1終了 来期導出へ	・Phase1が予定通り9月に試験終了。現在データの解析中。 ・プレマーケティングを実施、今後はスピーディーな導出を目指す。
NC-2600*	P2X4受容体拮抗薬 (神経障害性疼痛)			Phase1終了 来期導出へ	・九州大学との共同研究。 ・Phase1が予定通り9月に試験終了。現在はデータの解析中 ・Phase1終了後(2018年3月)の導出を予定。
NC-2700	URAT1阻害薬 (高尿酸血症)		前臨床試験終了 データ解析中		・前臨床試験を終え、データの解析中。
NC-2800*	オピオイド δ 受容体作動薬 (抗うつ・抗不安)		前臨床試験実施中 (~2018年3月)		・筑波大学、北里大学、国立精神・神経医療研究センターの四者での共同研究。 ・導出活動を行いつつ、開発方針を検討。
ソレトン	NSAID (びまん型腱滑膜巨細胞腫他)				・医師主導型臨床治験をスタート。
カルバン	$\alpha 1\beta 1$ 遮断剤 (ハンチントン病他)				・海外ベンチャーによる新規適用に向けたP II予定。

*AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)による支援を受けているテーマ

経営戦略④





海外展開

■ベトナム工場

2017年9月14日に竣工し、2018年秋ごろには輸出開始へ。
将来的なASEAN販売拠点としての足がかりとする。



■医療用医薬品販売

国・地域	承認取得済み	承認申請中
 中国	カルバン	ASEANを中心に 2品目を承認申請中
 香港	ピオグリタゾン、シロスタゾール	
 韓国	ソレトン、カルバン	
 タイ	ウラリット	

2017年10月香港においてシロスタゾールの販売開始。

■臨床検査薬

世界最速のアレルギー診断機器(DiaPack3000)とアレルギー検査試薬(オリトンIgE)を核として、アジアを中心にマーケティング活動を実施中



本資料に関するお問い合わせ先
日本ケミファ株式会社 広報室
Tel 03-3863-1211 Fax 03-3864-5940

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。